

# のびゆく北小っ子

R7. 1. 28 文責 副校長 横田 和重

命を大切に、思いやりのある北諫早っ子  
 きたいに應えます  
 いつも笑顔で挨拶します  
 さいごまで あきらめません  
 はやね 早起き朝ごはんて生活します  
 やくそくを守ります  
 いのちを大切にします。  
 【北諫早小学校 こころの教育推進会議】

## 1月24日から1月30日までは全国学校給食週間です



学校給食は、明治22年に始まって以来、各地に広がっていききましたが、戦争の影響などによって中断されました。戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化を背景に学校給食の再開を求める国民の声が高まるようになり、昭和21年6月に米国のLARA（Licensed Agencies for Relief in Asia：アジア救済公認団体）から、給食用物資の寄贈を受けて、昭和22年1月から学校給食が再開されました。

昭和21年12月24日に、東京都内の小学校でLARAからの給食用物資の贈呈式が行われ、それ以来、この日を学校給食感謝の日と決めました。昭和25年度から、冬季休業と重ならない1月24日から1月30日までの1週間を「学校給食週間」としました。

子供たちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、偏った栄養摂取、肥満傾向など、健康状態について懸念される点が多く見られる今日、学校給食は子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。

ご家庭でも、食への感謝や食べることの大切さ、マナー等について話題にしていいただければと思います。

## 薬物乱用防止教室(6年生対象)を実施しました

薬物乱用は、近年低年齢化するなど、社会的な問題となっています。そこで1月22日に学校薬剤師の堀剛先生をお迎えし、6年生を対象に「薬物乱用防止教室」を行いました。



薬物に誘い込む手口としては、「最高の気分が味わえるよ!」「一度だけなら大丈夫!」「ダイエットに効くんだよ!」「勉強にも集中できるよ!」「イライラがとれてスッキリするよ!」など子供たちの興味をそそるところから始まるそうです。

この誘いに乗らないために、堀先生からは「自分のことは、自分で決めて、正しいと思うことができるようになりましょう。」と自分に自信をもつことの大切さについても子供たちに伝えていただきました。「ダメなものはダメ」としっかり判断できることがやはり大切ですね。

## 不審者対応教室を行いました

1月24日に長崎県スクールサポーターの廣瀬昌和様をお迎えし、全校児童を対象に「不審者対応教室」を行いました。



不審な人の特徴について、子供たちは「黒っぽい服」「帽子を被って、マスクをしている」「サングラスをかけている」など、いかにも不審者だという特徴を挙げました。しかし、実際には、若い人やお年寄り、服装などの見た目ではわからないことを廣瀬さんが話されると子供たちは大変驚いていました。

講話の中で、子供たちに気をつけてほしいことを伝えていただきました。以下内容を紹介します。

### 【気をつける時】

○学校の行き帰りや、外で遊んでいる時などに、知らない人や車がいる時

### 【気をつける場所】

- ひ：一人になるところ…公衆トイレ、エレベーター、公園など
  - ま：周りから見えにくいところ…林の中、神社の裏、倉庫の裏など
  - わ：脇道、路地裏が多いところ
  - い：利用されない空き地や、公園など人気の無いところ
- ※「ひまわり」の言葉で覚えておくといいですね。

### 【職員も訓練しました】

子供たちが下校したあと、廣瀬さんにさすまたなどの使い方について教えていただきました。



子供たちだけで不審な人物と対峙することはとても難しいです。昔から地域の安全は、地域で守ると言われます。これからもたくさんの地域の方の目で子供たちを見守っていただきますようお願いいたします。